

# 子どもたちの視力を守る 取り組みについて

## 手遅れになる前に!

子どもの視力の発達は、3～4歳くらいまでをピークとし、6歳頃にはほぼ完成するといわれています。視力の発達のピークに、屈折異常や斜視などの問題があり、正常な視覚刺激が入ってこない、弱視となってしまうことがあります。早い時期に見つけ、適切な診断、治療をすることで改善が期待できるといわれています。

## 3歳児健診で眼の検査が受けられます

鎌倉市では、令和2年度にクラウドファンディングを活用してご寄附をいただき、屈折異常や斜視を検査できる「スポットビジョンクリーナー(SVS)」という機器を購入することができました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。このSVSを使った検査は、カメラで写真を撮るのと同じ感覚で1分もかかりません。お子さんにもお母さんにも負担をかけずにできる簡単な検査で、令和3年5月から3歳児健康診査時に導入しています。

## 早期発見・早期治療が大切です

普段の生活の中で保護者の方が、「お子さんの目つきがおかしい」、「テレビを見るときに近くで見る」、「目を細めたり頭を傾けたりする」などの気になるしぐさに気づいたときは、3歳児健康診査を待たず、眼科にご相談ください。

